

# 2022年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース			教科担任	
地理歴史	地理B	4	2年次・文系			内山 直希	
使用教科書	新詳地理B (帝国書院)		使用副教材	新詳地理Bノート (帝国書院) 詳解現代地図 (二宮書店) フォトグラフィア地理図説 (とうほう)			
科目の目標				道徳教育のねらい			
現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				地域・社会・世界に対する認識を深め、社会の一員としての必要な自覚を養う。			
市函DP (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)							
学習活動内容		1	2	3	4	5	6
		主体的学習力	基礎力	思考・分析力	発信・表現力	自他認知・協働力	計画実行力
<b>第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能</b>							
1	1章 地理情報と地図	○	○	○			
2	2章 地図の活用と地域調査	○	○	○	○		
<b>第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察</b>							
3	1章 自然環境	○	○	○	○		
4	2章 資源と産業	○	○	○	○		
5	3章 人口、村落・都市	○	○	○	○		
6	4章 生活文化、民族・宗教	○	○	○	○		
<b>第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察</b>							
7	1章 現代世界の地域区分	○	○	○			
8	2章 現代世界の諸地域	○	○	○			
9	3章 現代世界と日本						
6	グループワーク			○	◎	◎	
7	課題提出	◎		○		○	○
8	審査		○	○	◎		○
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断		技能・表現		知識・理解
	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。		現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。		地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。		現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
評価の方法	小テストや課題、ノートや授業中の発表・発言、討議などに取り組む姿勢から、意欲的に取り組んだかを評価する。		定期考査や小テスト、課題などにより、系統地理的、地誌的に考察し、判断した過程や結果を表現できるかどうかを評価する。		定期考査や小テスト、課題などにより、地図や統計、画像などの資料を活用して情報を得て、まとめることができるかどうかを評価する。		定期考査や小テスト、課題などにより、基本的な事柄を理解し、知識を身に付けているかどうかを評価する。

# 地理2年次文系 授業計画

		授 業 計 画			実 施 状 況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4月	第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図(6)	・地図の種類について理解し、地図の特性や時差の求め方を通して地理的技能を身に付ける。	1節 地図の発達(1.5) 2節 地図の種類とその利用(2.5) 3節 地理情報の地図化(2)		
	5月	2章 地図の活用と地域調査(4)	・地形図などを活用して、地域を多面的・多角的に調査し、地域的特色をとらえる地理的技能を身に付ける。	1節 地図の活用(2) 2節 身近な地域の調査(2)		
	6月	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境(34) 前期中間考査(1)	・地形や気候の特徴や分布などを理解し、人間生活との関わりについて考察する。  ・世界の環境問題について大観し、特徴と対策について考察する。	1節 世界の地形(14) 2節 世界の気候(13) 3節 日本の自然の特徴と人々の生活(2.5) 4節 環境問題(4.5)		
	7月	前期期末考査(1)				
前 期	8月 9月	2章 資源と産業(42)	・農業地域区分について理解し、現代世界及び日本の農林水産業と食料問題の現状と課題を考察する。  ・エネルギー・鉱産資源の利用と分布などを理解し、資源・エネルギー問題について考察する。  ・工業の発達や立地・工業地域について理解し、世界及び日本の工業の課題を考察する。  ・第3次産業や交通・通信の発達による世界の一体化について理解し、現代世界の貿易と経済圏の現状や課題を考察する。	1節 世界の農林水産業(12) 2節 食糧問題(2)  3節 世界のエネルギー・鉱産資源(5) 4節 資源・エネルギー問題(5)  5節 世界の工業(12)  6節 第3次産業(2) 7節 世界を結ぶ交通・通信(2) 8節 現代世界の貿易と経済圏(2)		
	後 期	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 3章 人口、村落・都市(12)	・グラフなどの資料を読み取り、世界及び日本の人口問題について考察し表現する。  ・資料を活用して都市や村落について理解し、都市・居住問題の解決について考察し結果をまとめる。	1節 世界の人口(2.5) 2節 人口問題(2.5)  3節 村落と都市(4) 4節 都市・居住問題(3)		
4章 生活文化、民族・宗教(12)  後期中間考査(1)		・文化や民族の特徴や分布について理解する。 ・現代世界の民族・領土問題の現状について理解し、課題を考察する。	1節 世界の衣食住(3) 2節 民族と宗教(3) 3節 現代世界の国家(2) 4節 民族・領土問題(4)			
第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分(0.7)  2章 現代世界の諸地域(25.3)		・多様な観点から、地域区分や地誌の考察ができることを理解する。 ・中国や朝鮮半島について、自然や産業、隣国との交流などの観点から考察する。  ・東南、南アジアについて、自然や産業、宗教などの多様な事象を項目ごとに整理して考察する。	1節 地域区分とは何か(0.7)  1節 地域の考察方法(0.3) 2節 東アジア(8)  3節 東南アジア(9) 4節 南アジア(8)			
後期期末考査(1)						